

小田川っ子



平成27年度
白河市立小田川小学校
平成27年11月27日(金)
第30号(77号)
発行者 校長 小檜山 健

よりよい小田川小にするための「学校評価」アンケート

さて、本校では、教育目標をもとに様々な具体的な計画を立てて、よりよい学校づくりをめざして取り組んでいるところです。そして、その成果として、子どもたちのふだんの学校生活の姿や、「学習発表会」や「マラソン記録会」などの姿から、その成長ぶりや変容を感じていただければと思っております。

本年度も、下記のとおり、「小田川小学校学校経営・運営ビジョン」等を、4月のPTA総会の折に説明し、その達成に向けて、教職員一同、心を合わせて努めてきました。そこで、本年度の取組に対する保護者の皆様方へのアンケートを実施し、次年度の教育活動の改善を図っていきたくと考えております。

つきましては、本日配付の「学校評価アンケート」へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校経営方針ならびに重点指導事項

自ら学ぶ意欲・態度・能力を育て、確かな学力を身に付けます

- 授業の質の向上
 - ・ 「わかる、できる授業」の充実
 - ・ 個に応じた指導の徹底(TTによるきめ細かな指導)
 - ・ 習熟の時間(モジュール学習「がんばりタイム」・放課後補習学習「ぐんぐんタイム」)
 - ・ 話をよく聴くことの徹底…姿勢をよくして、視線は語り手に
- 読書活動の推進(全校一斉「朝読書・読書タイム」、読み聞かせ、読みかけの本を持つ)
- 家庭学習の習慣化(決まった時刻に始める『時刻の固定』)

- ・市、県、全国学力調査の成果アップ
- ・読書量1か月 低学年8、中学年5、高学年3冊以上
- ・家庭学習習慣定着率90%

人を思いやり、人と協力できる豊かな人間性を育てます

- 道徳教育の充実
 - ・ 道徳授業の授業参観における公開
- 生徒指導の充実
 - ・ いじめを許さない、見逃さない態度の醸成
 - ・ 子ども心に寄り添った指導・対応(心の交流)
 - ・ 一人一人の自己存在感の育成(不登校の防止)
 - ・ 異学年交流や縦割り班活動の推進
- 地域を愛する心の醸成
 - ・ 地域学習の充実「地域というステージで、地域の方々と、地域を学ぶ」(外部人材の活用)
 - ・ ふるさとに誇りをもつ心の育成(ふるさとの教材化)
 - ・ 体験的学習の推進「本物を観る、本物に触れる、本物へのあこがれ」(白河市バスの活用)

- ・いじめゼロ
- ・不登校ゼロ
- ・元気なあいさつ定着率90%



自分の体に関心を持ち、たくましく生きるための健康な体を作ります

- 体力の向上
 - ・ 体育の時間における運動時間の確保(運動習慣の二極化への歯止め)
 - ・ 「強化月間」の実施(水泳、マラソン、なわとび)
 - ・ 特設陸上部の充実
- 健康な生活習慣作り
 - ・ 「凡事徹底」; 当たり前のことを当たり前にできる児童の育成(「いただきます」と声に出す)
 - ・ 給食、食育、歯科衛生、薬物乱用防止、性に関する指導の充実(養護教諭によるTT指導、給食センター栄養士、歯科衛生士、助産師などの活用)
 - ・ ノーメディアデーの実践
- 安全教育の徹底
 - ・ 潜んでいる危険の除去…五感を働かせる。子どものふだんの話や地域から情報を得る(避難訓練、防犯訓練、交通教室、放射線教育)

- ・交通事故、不審者事故ゼロ
- ・体力テスト 持久力・投力アップ
- ・朝ごはん摂取率100%

